

第58回東北海区海洋調査技術連絡会

開会の挨拶

大湊地方総監部幕僚長 矢野 一樹

私は、大湊地方総監部幕僚長の矢野でございます。

本日は、年末の大変お忙しい時期に、遠路はるばる多数の方々が下北むつの地にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、平素から海上自衛隊の任務に対し、ご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げますとともに、当地方総監部が当番官庁として第58回東北海区海洋調査技術連絡会を開催できますことは、ひとえに皆様方のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

この会は、昭和26年に始まり会員の入れ替わりがあったものの現在、活動目的の違う4機関が東北海区を共通の場として、調査研究されている皆様が一同に会され研究発表、情報交換されている歴史ある会と聞いております。

私も、わが国の防衛、特に海上交通の保護という職責に携わるもの一人として、わが国周辺海域の海洋環境については大きな関心を持ってまいりました。

また、近年の観測機器やIT技術等の発達によって、海洋調査における研究開発も進化し、海洋資料は急速に整備されていると承知しております。

私どもの業務においても任務遂行上、海洋環境調査は重要で不可欠なものであり、そうした情報が得られるのも、ひとえに、ここにお集まりの皆様のご熱心な調査、研究により積み重ねられた貴重な資料であることをよく認識し有効に活用しております。

本連絡会を通して、今後も各機関の横の連携をより一層密にしながら専門分野において研究を進められ、それらの研究成果がそれぞれの業務に反映されてゆくことを願っております。

今日、明日と二日間の連絡会の開催には、不慣れな点が多く不自由をおかけすることと思いますが、ご容赦いただき、大いに意見を交換されて本連絡会を実りあるものにしていただきたいと思います。

最後に、本連絡会の発展を祈念して開会の挨拶といたします。